

公開講座

第2回トライアングル・トーク

「戦後70年～日本の過去・現在・未来～」

戦後の日本は、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を基本原理とする日本国憲法のもとで、平和で豊かな社会を築き上げてきました。

一方で、この70年の間に内外の諸情勢は大きく変わりました。

成長社会から成熟社会へと移行するなか、人口減少や巨額の財政赤字といった問題を抱え、日本は持続可能な経済社会を構築できるのでしょうか？

中国が台頭する一方で、米国の影響力が低下するなか、安倍政権は集団的自衛権の限定的な行使を容認するなどの安全保障政策を打ち出しました。この防衛政策の転換が、日本の平和と安全にどのような影響を及ぼすのでしょうか？

そして、戦後70年の「安倍談話」。時代の転換期とも言える今、私たちはこの談話の持つ意味合いをどう捉えたら良いのでしょうか？

第2回トライアングル・トークでは、私たちの来た道を振り返り、私たちの行く道を考えたいと思います。

11/13 (金)

時 間…13:30～15:30
 受 講 料…無料 要申込み
 定 員…200名
 会 場…ステーションコンファレンス東京 5階

お申し込みは
 こちらのQRコードで!



(東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー内)

お問い合わせ…03-5222-5678 (平日10:00～18:00)
 関西学院大学 丸の内キャンパス

または

関西学院大学丸の内講座

webで検索

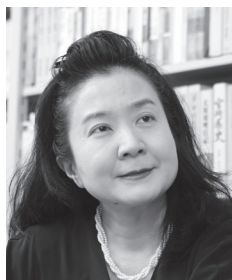
講 師

東京大学文学部教授
 (日本近代史)

加藤 陽子

Kato Yoko

1960年埼玉県生まれ。1989年東京大学大学院人文科学研究科(国史学専攻)博士課程修了。山梨大学講師を経て、1994年東京大学助教授、2009年から現職。1930年代の外交と軍事を専門とし、著書に『模索する1930年代 日米関係と陸軍中堅層』(1993年 山川出版社)、『徴兵制と近代日本』(1996年 吉川弘文館)、『満州事変から日中戦争へ』(2007年 岩波新書)、『それでも日本人は「戦争」を選んだ』(2009年 朝日出版社)、『昭和天皇と戦争の世紀』(2011年 講談社)がある。



キヤノングローバル
 戦略研究所研究主幹
 立命館大学客員教授
 外交政策研究所代表

宮家 邦彦

Miyake Kunihiko

1978年東京大学法学部卒業、外務省入省。外務大臣秘書官、在米大使館一等書記官、中近東第二課長、中近東第一課長、日米安全保障条約課長を経て、在中国大使館公使、在イラク大使館公使を歴任、中東アフリカ局参事官を最後に2005年退官。第一次安倍内閣で総理公邸連絡調整官。著書・コラム・論文多数。



Triangle Talk

丸の内講座 監修
 関西学院大学教授
 NEWS ZERO メーンキャスター

村尾 信尚

Murao Nobutaka

